

観光問題

問 安定宿泊数はどのくらいですか

答 何人なら安定であるとは言えない



小林英雄議員

【観光産業】

問 昨年の宿泊者総数は、どのくらいですか。

村長 県の統計では、昨年の延べ宿泊者数は約190万人、入込客数は約253万人となっています。

問 村内の宿泊施設数と収容者数は、どのくらいですか。

村長 村政要覧によると、旅館85、民宿105、ペンション184、ロッジ・ヒュッテ50、ホテル55、貸別荘13、その他6で、収容者数は合計2万2483人です。

問 宿泊施設が固定資産税を払える安定宿泊数は、どのくらいですか。

村長 平成元年以降の最高入込客数は、平成4年387万人程で、村税未収額は1億2000万円でした。平成8年は373万人に対し3億円を超えていました。施設によって客単価や利益率が違うため、何人なら安定客数であるとは言えませんが、入込客数が多い方が良いのは当然です。

【ごみ処理広域化計画】

問 ごみ処理施設建設に関する住民アンケート調査の結果に対する考察は、いつどのような方法で村民に伝えるのですか。

村長 近く広域連合の広報誌とホームページに掲載し、住民に周知を図ることになっていきます。

問 ごみ処理施設検討委員会に公募委員として、白馬村民から何名ほど入ってほしいのですか。

村長 3市村で7名です。人口バランスなどから2名程度が妥当なところですが、それよりも、優秀なレポートにより選ばれるのが本来であると思います。

問 「アンケート調査に関する考察」ですが、考察とはいえないのではないのですか。2年半かかって、なお出口が見えてきません。いい加減な検証・考察では前に進めないと指摘しましたが、考察はまるで他人事の文章です。住民の理解を得るには、どうすべきかが示されていないければなりません。すべて経過説明に終わっていて、次のアクションが出てきませんが、文書の是非ではなく、文書全体から見ると同じ

徹を踏まないように、今後村民の理解を得られる手法で進んでいくということです。2年半がすべて無駄ではなく、



安曇野アートライン（瑞穂地区）

ごみに対する見識・認識が深まったことはプラスだと考えます。